

公益社団法人中部日本書道会 一宮支部報

公益社団法人 中部日本書道会 一宮支部発行 編集 支部編集部

平成三十年年度

支部集会・交流会

支部次長 吉田 桃花

日時 平成三十一年一月二十七日(日) 会場 一宮スポーツ文化センター(支部集会) 真清田神社参集殿(交流会)

平成最後の支部集会是、本部より理事長の関根玉振先生・副理事長の松下英風先生・事務局長の池青岑先生にご臨席を賜り、インフルエンザが日本中に猛威を振るう中、支部員一〇五名の出席のもと開催されました。

次提示され、監査報告後、満場一致で議事は承認されました。本年度は役員改選の年です。別室にて五名の選考委員に慎重審議ご討議して頂いた結果、木戸竹葉選考委員長より「次期支部にお願ひする。」と発表がありました。川浦碧濤支部長より来期への決意をお聞きし、最後に松下英風副理事長にご挨拶を賜り閉会となりました。

交流会は、真清田神社参

集殿に会場を移して開催されました。ご来賓の関根玉振理事長・松下英風副理事長・大池青岑事務局長には引き続きご臨席を賜りました。お忙しい公務の中、駆けつけて頂いた長坂康正衆議院議員のご挨拶を皮切りに岩村進次郎議長、大池青岑事務局長にもご挨拶を賜りました。

中野和雄一宮市教育委員ご来賓・支部員一〇四名参加の盛大な祝宴が始まりました。関根玉振理事長の甘い歌声に聞惚れ、歌自慢の先生方の美声に圧倒されつつも和やかな雰囲気の中で瞬く間に時は過ぎ、名残惜しくも真清田神社宮司辰守弘様の万歳三唱で交流会の幕は閉じられました。

再選を受けて

支部長 川浦 碧濤



去る一月二十七日に開催された平成三十年度支部集会上に於いて支部長の大役を再度拝命し、身の引き締まる思いと共に、重責を担う我が身は、緊張感の連続であります。

前支部長の岩田潤流先生からバトンを引き継ぎ早二年、相談役の先生方、旧役員の方々の先生方の心温まるアドバイスをいただき、又支部会員皆様のお力添えを賜りまして、無事に一期を終える事が出来ました。衷心より感謝と御礼を申し上げます。

今年度の支部展において、特別展示として「先賢遺墨展」を開催予定で計画して参ります。この歴史的な今機に先賢・先達の在りし日を偲び支部の明日・未来に繋げて行ければ幸いです。

平成三十年度 書道講演会 筆を持って五十七年

中でも魅力を感じたもの 連盟副会長 村上史麗

日時 平成三十一年一月二十七日(日) 会場 一宮スポーツ文化センター 講師 関根玉振先生



年にとり書道の道を極めていらっしゃる関根先生。現在日展準会員、読売書法会常任理事等数々の要職に就かれ、愛知県立大学においても教鞭をとられ後進のご指導にも熱心にあたられていらっしゃるようです。

支部集会終了後、引き続き支部講演会を開催しました。今年度は公益社団法人中部日本書道会理事長の関根玉振先生をお迎えして「筆を持って五十七年」と題して一時間半の講演をお願いしました。

新しい時代の幕開けとなります。今この瞬間、どう書道界が対応して行っているのか? 改めて、「書道愛好家」である自覚。会員相互の関係向上を目指して行くと共に、地域社会事業に参加協力して貢献しているという認識。明るい前向きな観念を抱いて進行して参りたく存じます。

2019年度・2020年度

公益社団法人 中部日本書道会一宮支部 部別編成・役割表

※順不同 (任期2年)

Table with 4 columns: 支部長, 連盟会長, 監事, 常任顧問(相談役). Lists names and roles for the 2019-2020 period.

Table with 5 columns: 部別, 部長, 副部長, 委員, 分掌. Lists department names, leaders, and their respective duties.

※ 各部に於いて業務執行上、必要において、他部に協力を求める事が出来る。又、協会員にも依頼する事ができる。(副部長、委員は五十音順)

看雲先生を偲んで

顧問 渡辺 月 潭



昨年の七月七日看雲先生は華嚴院釋實成と名を変えられ居を移された。古来「娑婆」は「忍土」と訳されているが実に名訳の一つである。我々のこの住む世界というものは、そこにある悲しみにも苦しみに耐え忍ばねばならないようになってきている。先生が逝ってしまったという悲しみ、そしてその苦しみにも私達は耐え忍ばなければならぬ。

子供の頃から指導を受けてきたお弟子さんの一人は最後のお別れの時、次の様なことを追憶されていた。「教え上手にほめ上手で手本も多様に書いて頂いた。上手に書けた時には、教室に掲示されたり、入賞した時にはお祝いの電報まで頂いた。紙、資料なども頂き書かなければと思つた。お体が不自由になられてからも机の前で書をやらせられ、言葉をおまわりかわされなくなつても目で話し通じあえるものがある。第二の父、人生の師であつて感謝あるのみ」と。

私との出会いは四十数年前の一宮市文化センターであつた。看雲先生は漢字、仮名など何でもこなされ書道に精通された先生と思つた。

私は特に隷書について懇切丁寧に、入筆の方法や線の引き方などこまやかに指導を受けた。飽きさせないように手と口で上手に教えられ私でも

なんとか続けることができたと思つている。

そのうち名古屋・江南の研究会にもお伴させて頂き、車中で書のこと、書道界の事など色々とお聞きした事を思い出している。又、病のため思うように動かなくなつた手もリハビリと称して懸命に筆を持ち字を書いておられた。逆境にあつてもそれに立ち向かつて前進されていた先生のお姿は頭がさがり今でも私の脳裏から離れない。まさに「日々是好日」の日々を過ごされてい

たと思う。先生から最後に頂いた八十二歳の時の力強く墨痕あざやかな作「無量壽」の前で今も追慕、感慨にひたつている。

温厚で誠実、たつた看雲先生、教え上手でいつも冷静に、こやかに接してくださつた看雲先生、至らぬ私も私なりに書を書けることができた。只只深く感謝するのみである。

今頃はきつと先に逝かれた穿石先生、五龍先生と再会され書談義に花を咲かせていらつしやることと思つた。

残された私達は、先生方の教えを引き継ぎ、日々精進して行く決意である。どうぞいついつまでも見守つてほしい。やはり「花は愛惜に散り、草は棄損に生う」であろうか。み名をしずかに唱うれば思ひはさらにいよましぬおのずとにじむ涙にもえにしの深きゆえを知る

中部日本書道会 一宮支部相談役
鷺野 看雲 先生
平成三十年七月七日逝去
享年 八十七才

第七十三回一宮市芸術祭参加 第64回一宮支部展

支部次長 村田 光 終

▼会期 平成三十年十一月二十四日(土)～二十五日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

暮秋の候、本年度も一宮支部展が開催されました。第六十四回展も成功裡に収めることが出来ました。それも偏に先生方の多大な御尽力と御協力の御蔭と先ずを以て、厚く御礼申し上げます。

本部からは、昨年同様、理事長の関根玉振先生、副理事長の伊藤仙游先生、同岡野楠亭先生、同松下英風先生、事務局長の池田青岑先生の賛助出品を賜り、支部の先生方からは、一九七名の多数の御出品、フューチャーズは、団体として三団体、個人では六名の御出品を頂きました。

周知の通り、支部展は地元最大の書道展で御来観も多いです。一般の方々にも今迄以上に御興味を持って御鑑賞頂けるよう、支部長の御提案があり、本年度よりギャラリートークの新企画が加わる運びとなりました。第一回は歴代の支部長(相談役)の亀山雪峰先生がお話をして下さいました。

公益社団法人 中部日本書道会 一宮支部 第47回 学生書道展

支部次長 鷺野 紫 篁

▼会期 平成三十年十一月二十四日(土)～二十五日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

第四十七回支部学生展は十一月二十四、二十五日の二日間、支部展と併催にて行われました。

心配していた出品数でしたが、支部員の先生方を始め、会員外の先生からの出品が少しずつ増加し、昨年とほぼ同数にて開催することが出来ました。

展示会場の展示は、前回からの提案により、コーナー部分の作品も見映え良くなりました。写真を撮られる御父兄の皆様にも好評のようでした。秋の行楽シーズンにも関わ

美しい作品の書き方の全体的必要条件として、線の太い細いの変化。墨の潤濁の変化。字の大小の変化。この三つの変化に加え更に落款を含めた全体の余白の美しさの工夫で、立体的な美しい作品が出来る。

又、文字学に於いて、先生御自身の作品から「種・あき」の字を例にされ、字源の説明、その流れから長文制作の際、同じ字が重なった場合は異字体を使用して変化をつける等の豊富な制作の方法を、とても判り易く御教示賜りました。

本年度は新元号となり、又六十五回展の節目の年です。相変わりませず多数の御出品並びに御尽力を賜りますようお願いし申し上げます。

て下さっている、お祖父ちゃん、お祖母ちゃんも多いと聞いています。担当の先生方、ありがとうございました。



- 総出品点数 三、三六四
招待 七点
無鑑査 四七点
個人賞(知事賞、菊花賞) 一、三六九点
特選 一、三二七点
金賞 六一四点

2018 一宮総合美術展

▼会期 平成三十年六月七日(木)～十日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

当美術展は、一宮市芸術文化協会に所属する文化団体から選ばれた方々の展覧会であり、書の部門には本会から左記の方々が出展されました。

- 出品者 (五十音順)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 安藤 蘇道 | 市川 嶺華 | 田代 春苑 | 富田 栄楽 |
| 伊藤 曉嶺 | 伊藤 玄圃 | 中村 華風 | 中村 紅呂 |
| 伊藤 美泉 | 岩田 潤流 | 中村 曾南 | 野村 怜光 |
| 鶴飼 秀麗 | 勝海 芝香 | 野田 佳楊 | 則武 穹 |
| 加藤 松翠 | 可児 長望 | 橋本 成良 | 林 如華 |
| 亀山 雪峰 | 川浦 碧濤 | 村上 史麗 | 見神 恵峰 |
| 河島 紫虹 | 木戸 竹葉 | 村 上 麗 | 村田 光柊 |
| 倉橋 高堂 | 小島 瑞月 | 森 雪華 | 森 隆城 |
| 小島 雪舟 | 近藤 芳玉 | 山田 杏華 | 横井 静嘉 |
| 酒井 光華 | 高木 曾水 | 吉田 桃花 | 吉田 美影 |
| 高松 秀翠 | 武山 翠屋 | 鷺野 紫篁 | 渡辺 月潭 |

第76回 一宮市美術展

▼会期 平成三十年十一月十五日(木)～十八日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

- 審査員
- | | |
|-------|-------|
| 松永 清石 | 林 大樹 |
| 則武 穹 | 森 隆城 |
| 川浦 碧濤 | 田代 春苑 |
| 安藤 蘇道 | 田代 春苑 |
- 出品点数 一五五点
- 一宮支部関係入賞者
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 無鑑査 | 井上 嘉蓮 | 渡邊 水香 |
| 市長賞 | 脇田 玉波 | 岩田 展穂 |
| 山田 清翠 | 山田 清翠 | |
- 教育委員会賞
- | | |
|-------|-------|
| 秋好 水遼 | 内藤 春翠 |
| 原 香風 | 濱田 幽翠 |
- 奨励賞
- | | |
|-------|-------|
| 梶木 光雪 | 山内 山抱 |
| 後藤 沼香 | 山田 紅照 |
| 内出 紅華 | 花田 寛城 |
| 志知 隆道 | 山口 如泉 |
| 川本 青柊 | 戸谷 嘉恵 |
| 西澤 晴香 | 今井 恭子 |
| 平岩 幸子 | 竹内 深風 |
- 美術展賞
- | | |
|--------|-------|
| 川出 曉香 | 林 華静 |
| 渡辺 湖風 | 則武 穹 |
| 小笠原 澄遠 | 高松 彩月 |
| 大橋 溪煙 | 西垣 美茜 |
| 後藤 柳月 | 山本 瑶華 |
| 村瀬 紫苑 | 小島 華扇 |
| 安達 寿扇 | 林 翠竹 |
| 伊神 薪水 | 尾関 明美 |

おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第46回 学生書道展

一宮書道連盟会長 田代春苑

▼会期 平成三十年七月十四日(土)～十五日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

一宮七夕まつり第四十六回学生書道展が、二日間にわたり盛大に開催されました。

今回出品いただきました作品整理を、六月三日にスポーツ文化センターで行いました。出品点数が毎年減少するなか何とか昨年より三十点程多く出品があり安堵しました。

十四日午後から十五日両日は、かつてない様な猛暑の中、汗だくになった学生さんやご家族の多数の御来場があり、イベントの団扇書きの会場は、各担当の先生方の親切な対応で、皆楽しそうに筆を持っていました。又併催された選抜作品展の中から学生さん達が習っている先生の作品を捜す姿も微笑ましく、目が輝いて見つかった時の顔、こちらもみていてホッとした次第です。

当会展は、書写技術の向上と充実及び青少年の健全な育成を目的に催されています。そのために各担当の先生方が、ご自身の塾経営や学校等の指導の他にこの会の為に八ヶ月程前より、

一宮書道連盟主催(支部後援) 第25回 選抜作品展

▼会期 平成三十年七月十四日(土)～十五日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター
▼作品サイズ 色紙・短冊・升色紙・葉書などの小作品

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第二十五回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員、先生及び、併催の「七夕学生書道展」にご出品の先生方を選抜させていただきました。楽しくユニークな小作品の展覧会でした。

- (出品者)
- 亀山雪峰 武山翠屋
 - 木戸竹葉 林大樹
 - 則武穹 岩田潤流
 - 伊藤玄圃 中村曾南
 - 伊藤暁嶺 加藤松翠
 - 近藤芳玉 高木曾水
 - 富田榮楽 森隆城
 - 山田杏華 渡辺月潭
 - 猪又松峰 小島雪舟

- 川浦碧濤 田代春苑
- 安藤蘇道 村田光柊
- 鷲野紫篁 吉田桃花
- 村上史麗 小島瑞月
- 吉田美影 橋本成良
- 高松秀翠 酒井光華
- 中村華風 横井静嘉
- 後藤蘇月 河島紫虹
- 中山芳泉 市川嶺華
- 小原紫明 河合翠月
- 倉橋華仙 倉橋高堂
- 田中石雲 戸松紅翠
- 林如華 牧仙岳
- 松田樹幹 八木彩花
- 阿部舟花 井内溪舟
- 石川裕彩 伊藤美泉
- 犬飼游華 今枝節峰

- 岩崎翠風 牛田美泉
- 大塚菖苑 大西影慕
- 太田紫翠 岡崎啓雪
- 尾中杉得 加島遊舟
- 春日井榮嘉 勝海芝香
- 可児長望 川浦慶風
- 河村抱山 川本青柊
- 國島英華 栗本珠路
- 小出和香 小島祥風
- 五藤梅艶 後藤柳月
- 酒井香雪 坂井香泉
- 酒井淑婉 佐藤紅蘭
- 関戸海越 高山紅雪
- 富田蘭月 内藤春翠
- 中村紅邑 西垣美茜
- 西澤晴香 西村松花
- 野田佳楊 橋本佳静
- 服部稲華 馬場清恵

- 原香風 牧野瑞葉
- 見神恵峰 美濃羽城開
- 宮代翠霄 三輪田香苑
- 村上桂峻 村瀬紫苑
- 森雪華 山口竹汀
- 山田紅照 山本瑤華
- 渡辺湖風 渡辺美翠

第四十六回展出品数

- 総出品数 三、六三六点
- 特別出品 四八八点
- 個人賞 一、四八三点
- 特選 一、四四一点
- 金賞 六六四点



平成30年 支部研修旅行 — 北勢の旅 —

常任理事長 安藤蘇道

▼日時 平成三十年十月二十八日(日)
▼行先 北勢(湯の山方面)



昨年と全く違い絶好の秋晴れです。朝八時前西成支所出発。いちい信金駅西支店、尾西庁舎の順で参加者全員を乗せ天候の様に快く北勢の旅へ。

心配した渋滞もほどほどに四日市インターを予定通り降り、先ずはパラミタミュージアムに到着。常設の池田満寿夫の心経、佛面等の彼の表現に奇才(?)を感じ：今回は近代洋画名作展が開催中で、モネ・ユトソロ・シャガール・ピカソ・ルオー・マチス等数々の見応え有る画家達の作品が展示されておりました。大変感動しました。目的地の三ヶ所は存外近くに在りバスに乗ったらずぐ次の場所！もう二ヶ所目のアクアイグニスに着

きました。天然温泉に真っ先に入浴する人。辻ロシエフの有名なスウィーツセツトを食す人。お土産をアレコレ買って大事そうにバスに戻る人等々：買い物も旅の楽しみのひとつです。よね！ベテランガイドさんの愉快なおしゃべりも、湯の山グリーンホテルの昼食も美味しく、予想以上で係としてはホッ

!!。さあ期待の澄懷堂へ。以前に在った四日市駅近くの繁華な場所と違い、静かな山の麓の茶畑の中、田舎(?)の古民家の様をなした塀にかこまれた重厚な建物に造り替えられていました。途中ロードレー

堂に到着できました。想像に反して以外とこじんまりとしていました。館長のご丁寧なお出迎えを受け館内に案内されました。作品展示は数点でしたがやはり実物肉筆の迫力には凄いものを感じます。沢山の所蔵品が有る美術館なので又次の機会を作って再度お越し下さい。との事。数点の作品でもその力強さや圧倒的な線質！古代からの贈り物でしょうか？年に何回かの掛け替えをする予定。今回拝見した作品展示はこの先三年間は無いそうなので度々足を運ぶ事が必要ですね。出発の朝寒かったのに今日は一日暖か。汗まで出る程の小春日和。本当に善い一日で去年の事を思うと心掛け

ご入選・ご入賞 おめでとうござります

第35回読売書法展

秀逸 猪又松峰

溝口純華
山口竹汀

第70回毎日書道展

秀作賞 森雪華

第68回 中日書道展

会場・会期

電気文化会館 東西ギャラリー
東ギャラリーイベントホール
名古屋市民ギャラリー栄
名古屋博物館

六月五日(火)〜十日(日)
六月十九日(火)〜二十四日(日)
六月十九日(火)〜二十四日(日)
六月二十日(水)〜二十四日(日)
六月二十七日(水)〜二十八日(木) 二科
六月三十日(土)〜七月一日(日) 二科

支部からは左記の方々が受賞されました。おめでとございます。益々のご活躍をお祈りいたします。

準大賞



長崎 成秀



牧野 瑞葉



山崎 紅影

桜花賞

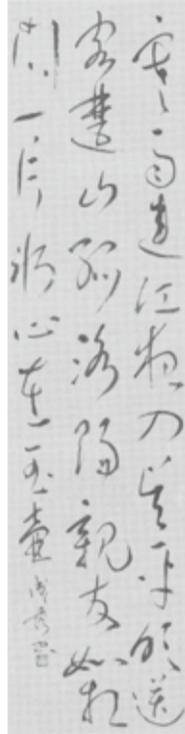
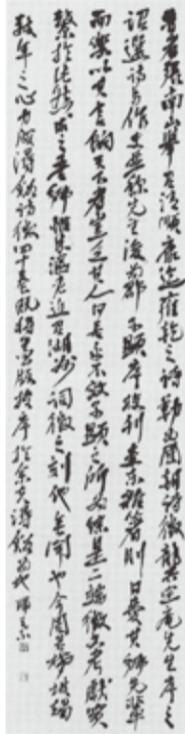
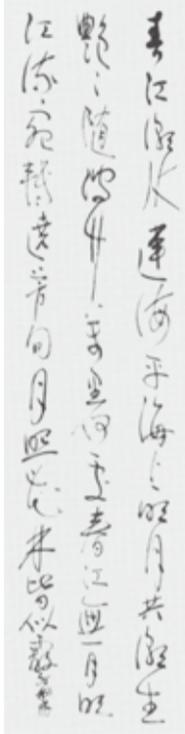
- 青井翠風 伊藤紫鳳
- 大澤雅舟 大西影慕
- 中山芳泉 安田彩霞
- 山口如泉 脇田玉波
- 渡辺美翠

二科

- 特選 鵜飼玲舟 大津翠影
- 加藤眉翠 川本青椋
- 野田花翠 濱田幽翠
- 半田水麗 丸井玉秀

準特選

- 森麗雅 山田華苑
- 山本双剣
- 井内溪舟 伊神薪水
- 鵜飼澄景 大島景葉
- 川出暁香 木村秀華



秀逸

- 久住珠華 國島泛翠
- 酒井照苑 辻川祥花
- 森麗雅 山田華苑
- 渡邊水香
- 飯塚珠穂 石塚映彩
- 石原映花 伊藤佳苑
- 伊藤翠美 井本紅彩
- 岩田翠萌 小笠原澄遠
- 奥村翠想 笥多恵子
- 河合晃城 川添陽泉
- 榊田恵翠 倉橋澄雨
- 栗田梢光 小嶋美秀
- 小林修堂 佐久間汀翠
- 佐藤紫榮 志知隆道
- 柴田怜玉 高木紅絲
- 東海眉虹 永井城圭
- 中島昭川 中島清秀
- 中瀬光舟 永田朝照
- 袴田泉穂 服部久敬
- 花木寛城 馬場桜華
- 林翠竹 速水香余
- 船橋隆峰 古川博崇
- 古田翠楊 三輪星慧
- 森川峻翠 山口雪華
- 渡辺紗里
- 川辺舟楫 鈴木影花
- 野村小鏡
- 安達寿扇 飯田紫泉
- 市川翠泉 大迫寿星
- 太田荀媪 小川香風
- 佐々木映雪 丹羽碧洋
- 日置康苑 堀美芳
- 横山香華 甲斐野美津枝
- 佳作 鵜飼水影 佐々木花抱
- 鵜飼水影 野村香月
- 佐野陽華
- 安江稲華

二科賞

一科賞

奨励賞

佳作

平成30年度 一宮支部収支決算報告

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

収入の部			決算額(円)	予算額(円)
款	項	目		
1	会費収入	1 会費収入		
		1 理事・監事	5,000	10,000
		2 評議員会費	416,000	412,000
		3 正会員会費	856,000	880,000
		3 準会員会費	122,500	120,000
2	事業収入	1 事業収入		
		1 支部展収入	788,000	920,000
		2 支部学生展収入	1,262,320	1,520,000
		3 支部選抜展収入	0	0
		4 支部研修会収入	854,000	860,000
		5 支部講演会収入	0	0
		6 支部祝賀会収入	807,500	1,190,000
3	雑収入	1 雑収入		
		1 受取利息	0	0
		2 雑収入	100,000	95,000
		2 本部より振替金		
		1 愛の募金委託金	100,000	
4	投資活動収入	1 特定資産取崩		
		1 支部積立金取崩		
		前年度より繰越	832,117	70,000
収入合計			6,143,437	6,077,000

支出の部			決算額(円)	予算額(円)
款	項	目		
1	管理費	1 管理費		
		1 支部事務所費	895,091	1,114,000
2	事業費	1 書道振興事業費		
		1 講演会費	98,771	132,000
		2 講習会費	0	0
		3 研究会費	0	0
		4 研修会費	835,552	876,000
		5 選抜展費	0	0
		6 学生展費	1,612,510	1,940,000
		7 支部展費	283,806	365,000
		8 色紙展費	0	0
		9 書道振興事業費	410,108	360,000
		10 支部祝賀会費	940,350	1,220,000
		2 本部より振替金		
		1 愛の募金委託金	100,000	
3	投資活動支出	1 特定資産取得支出		
		1 支部記念事業積立金	70,000	70,000
		次年度へ繰越	897,249	0
支出合計			6,143,437	6,077,000

支部展・学生展の予告

第65回 支部展

- 一、展覧会 令和元年十一月二十三日(土)〜二十四日(日)
- 一、会場 一宮スポーツ文化センター

第48回 支部学生書道展

- 一、展覧会 令和元年十一月二十三日(土)〜二十四日(日)
- 一、会場 一宮スポーツ文化センター
- 一、出品資格 幼児、小学生、中学生、高校生
- 一、出品料 四〇〇円
- 一、出品締切 十月五日(土)

主催 公益社団法人中部日本書道会 一宮支部
一宮市芸術文化協会

平成30年度 新入会員紹介

平成30年度、支部に入会された方々をご紹介します。

- 青井虹泉 新井翠眉
 - 市川翠華 伊藤翠美
 - 加藤清苑 河合晃城
 - 國島泛翠 佐藤青耀
 - 佐野陽華 中島清秀
 - 速水香余 半田水麗
 - 日置康苑 古川博崇
- 本部より移籍
浅野春陽

計報

本号発行までに左記の方々が逝去されました。心から哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

(逝去順)

正会員

尾関喜承先生

本部顧問

鷺野看雲先生

編集後記

新しいスタッフを迎え、役員一同、新たな気持ちで頑張っております。ご指導ご協力の程、よろしくお願致します。

編集広報部長 後藤蘇月